

## 第3章 事業者アンケート及びヒアリング結果の概要

### 1. 事業者アンケート

#### (1)回答状況

従業員規模別及び業種別に集計したアンケートの回答状況を表3-1-1に示す。回収率は発送数に対するものと、様式1及び様式2の回答数に対するものの2種類を示している。

但し、業種は以下の区分ごとに示すこととした。

区 分	業 種 名
化学系製造業	化学工業(20)、 石油製品・石炭製品製造業(21) プラスチック製品製造業(22)、 ゴム製品製造業(23)
金属系製造業	鉄鋼業(26)、 非鉄金属製造業(27)、 金属製品製造業(28)
機械系製造業	一般機械器具製造業(29)、 電気機械器具製造業(30)、 輸送用機械器具製造業(31)、 精密機械器具製造業(32)
その他製造業	食料品製造業(12)、 飲料・たばこ・飼料製造業(13)、 繊維工業(14) 衣服・その他の繊維製品製造業(15)、 木材・木製品製造業(16) 家具・装備品製造業(17)、 パルプ・紙・紙加工品製造業(18) 出版・印刷・同関連産業(19)、 なめし革・同製品・毛皮製造業(24) 窯業・土石製品製造業(25)、 その他の製造業(34)
非製造業	鉱業(D)、 電気業(35)、 ガス業(36)、 熱供給業(37)、 水道業(38) 鉄道業(39)、 倉庫業(44)、 燃料小売業(593)、 洗濯業(721) 写真業(743)、 自動車整備業(77)、 機械修理業(781) 商品検査業(862)、 計量証明業(863)、 建物サービス業(864) 廃棄物処理業(87)、 病院(881)、 保健衛生(89) 高等教育機関(914)、 自然科学研究所(921)、 その他の業種(X)

表3-1-1 アンケート回答状況(業種別)

業種	発送数 (a)	様式回答数		アンケート回答数		アンケート回答率		
		様式1 (b)	様式2 (c)	全数 (d)	様式2回 答事業所 (e)	全事業所 =(d)/(a)	様式1回 答事業所 =(d)/(b)	様式2回 答事業所 =(e)/(c)
D 鉱業	33	22	1	14	1	42%	64%	100%
12 食料品製造業	428	253	17	142	15	33%	56%	88%
13 飲料・たばこ・飼料製造業	73	55	3	37	3	51%	67%	100%
14 繊維工業	151	94	40	56	32	37%	60%	80%
15 衣服・その他の繊維製品製造業	169	65	1	20	1	12%	31%	100%
16 木材・木製品製造業	101	50	10	30	8	30%	60%	80%
17 家具・装備品製造業	180	79	44	52	37	29%	66%	84%
18 パルプ・紙・紙加工品製造業	231	123	38	74	29	32%	60%	76%
19 出版・印刷・同関連産業	322	166	38	71	25	22%	43%	66%
20 化学工業	356	308	228	247	200	69%	80%	88%
21 石油製品・石炭製品製造業	42	37	26	29	24	69%	78%	92%
22 プラスチック製品製造業	405	233	115	158	99	39%	68%	86%
23 ゴム製品製造業	110	55	34	36	24	33%	65%	71%
24 なめし革・同製品・毛皮製造業	24	5	2	2	1	8%	40%	50%
25 窯業・土石製品製造業	617	395	108	248	89	40%	63%	82%
26 鉄鋼業	225	147	83	93	57	41%	63%	69%
27 非鉄金属製造業	111	72	37	46	33	41%	64%	89%
28 金属製品製造業	934	504	214	333	183	36%	66%	86%
29 一般機械器具製造業	868	451	171	285	138	33%	63%	81%
30 電気機械器具製造業	867	495	197	322	157	37%	65%	80%
31 輸送用機械器具製造業	651	372	192	224	128	34%	60%	67%
32 精密機械器具製造業	97	64	18	39	18	40%	61%	100%
34 その他の製造業	103	45	20	22	13	21%	49%	65%
35 電気業	87	79	23	68	22	78%	86%	96%
36 ガス業	30	26	2	17	2	57%	65%	100%
37 熱供給業	1	1	-	-	-	-	-	-
38 水道業	69	67	25	40	17	58%	60%	68%
39 鉄道業	34	26	1	8	1	24%	31%	100%
44 倉庫業	51	32	7	13	5	25%	41%	71%
593 燃料小売業	32	9	2	4	1	13%	44%	50%
721 洗濯業	163	86	31	38	22	23%	44%	71%
743 写真業	6	1	-	1	-	17%	100%	-
77 自動車整備業	54	18	9	10	6	19%	56%	67%
781 機械修理業	37	20	3	7	2	19%	35%	67%
862 商品検査業	14	4	-	2	-	14%	50%	-
863 計量証明業	14	12	2	7	1	50%	58%	50%
864 建物サービス業	54	15	-	7	-	13%	47%	-
87 廃棄物処理業	216	161	92	111	73	51%	69%	79%
881 病院	155	102	10	53	8	34%	52%	80%
89 保健衛生	28	18	4	13	3	46%	72%	75%
914 高等教育機関	124	97	24	56	14	45%	58%	58%
921 自然科学研究所	58	45	13	29	10	50%	64%	77%
X その他の業種	100	100	6	34	2	34%	34%	33%
合 計	8,425	5,009	1,891	3,098	1,504	36.8%	61.8%	79.5%

表3-1-1 アンケート回答状況（業種別）

業種	発送数 (a)	様式回答数		アンケート回答数		アンケート回答率		
		様式1 (b)	様式2 (c)	全数 (d)	様式2回 答事業所 (e)	全事業所 =(d)/(a)	様式1回 答事業所 =(d)/(b)	様式2回 答事業所 =(e)/(c)
1 化学系製造業	913	633	403	470	347	51%	74%	86%
2 金属系製造業	1,270	723	334	472	273	37%	65%	82%
3 機械系製造業	2,483	1,382	578	870	441	35%	63%	76%
4 その他製造業	2,399	1,330	321	754	253	31%	57%	79%
5 非製造業	1,360	941	255	532	190	39%	57%	75%
合計	8,425	5,009	1,891	3,098	1,504	36.8%	61.8%	79.5%

表3-1-1 アンケート回答状況（従業員規模別）

常用雇用者数（人）	発送数 (a)	様式回答数		アンケート回答数		アンケート回答率		
		様式1 (b)	様式2 (c)	全数 (d)	様式2回 答事業所 (e)	全事業所 =(d)/(a)	様式1回 答事業所 =(d)/(b)	様式2回 答事業所 =(e)/(c)
1 0～19	419	372	56	163	43	39%	44%	77%
2 20～29	1,632	619	115	332	96	20%	54%	83%
3 30～49	1,906	944	270	561	219	29%	59%	81%
4 50～99	1,924	1,129	371	712	303	37%	63%	82%
5 100～199	1,315	912	411	608	316	46%	67%	77%
6 200～299	476	381	208	279	175	59%	73%	84%
7 300～499	327	268	168	185	133	57%	69%	79%
8 500～999	253	220	166	160	134	63%	73%	81%
9 1,000以上	173	164	126	98	85	57%	60%	67%
合計	8,425	5,009	1,891	3,098	1,504	36.8%	61.8%	79.5%

表3-1-1 アンケート回答状況（報告物質数別）

報告物質数	発送数 (a)	様式回答数		アンケート回答数		アンケート回答率		
		様式1 (b)	様式2 (c)	全数 (d)	様式2回 答事業所 (e)	全事業所 =(d)/(a)	様式1回 答事業所 =(d)/(b)	様式2回 答事業所 =(e)/(c)
1 なし	3,261	3,254	136	1,616	22	50%	50%	16%
2 1物質	559	559	559	462	462	83%	83%	83%
3 2物質	405	405	405	345	345	85%	85%	85%
4 3～4物質	366	366	366	322	322	88%	88%	88%
5 5～6物質	158	158	158	132	132	84%	84%	84%
6 7～9物質	126	126	126	112	112	89%	89%	89%
7 10～14物質	93	93	93	70	70	75%	75%	75%
8 15～19物質	27	27	27	22	22	81%	81%	81%
9 20物質以上	21	21	21	17	17	81%	81%	81%
無回答	3,409	-	-	-	-	-	-	-
合計	8,425	5,009	1,891	3,098	1,504	36.8%	61.8%	79.5%

注：様式1が無回答でアンケートのみ回答した事業所は、報告物質数を「なし」に分類した（以下の集計表でも同様）

アンケートの回答事業所数の構成を表3-1-2及び表3-1-3に示す。

また、表3-1-3における「報告物質数」とは、様式2によって報告された事業所毎の物質数を示している。アンケート調査に回答した事業所(3,098事業所)のうち約52%(1,616事業所)は様式1のみ提出した事業所である。

表3-1-2 アンケート回答事業所数(業種・従業員規模別)

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
	0～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300～499人	500～999人	1,000人以上	
1 化学系製造業	20	48	80	111	92	48	34	26	11	470
2 金属系製造業	19	67	104	113	87	34	18	17	13	472
3 機械系製造業	22	71	127	189	177	90	69	69	56	870
4 その他製造業	43	93	137	174	155	71	39	32	10	754
5 非製造業	59	53	113	125	97	36	25	16	8	532
合計	163	332	561	712	608	279	185	160	98	3,098

表3-1-3 アンケート回答事業所数(業種・報告物質数別)

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
	なし	1物質	2物質	3～4物質	5～6物質	7～9物質	10～14物質	15～19物質	20物質以上	
1 化学系製造業	124	74	51	62	39	48	43	14	15	470
2 金属系製造業	202	77	72	70	27	13	6	4	1	472
3 機械系製造業	438	116	132	104	36	29	12	3	-	870
4 その他製造業	508	80	51	62	22	20	9	1	1	754
5 非製造業	344	115	39	24	8	2	-	-	-	532
合計	1,616	462	345	322	132	112	70	22	17	3,098

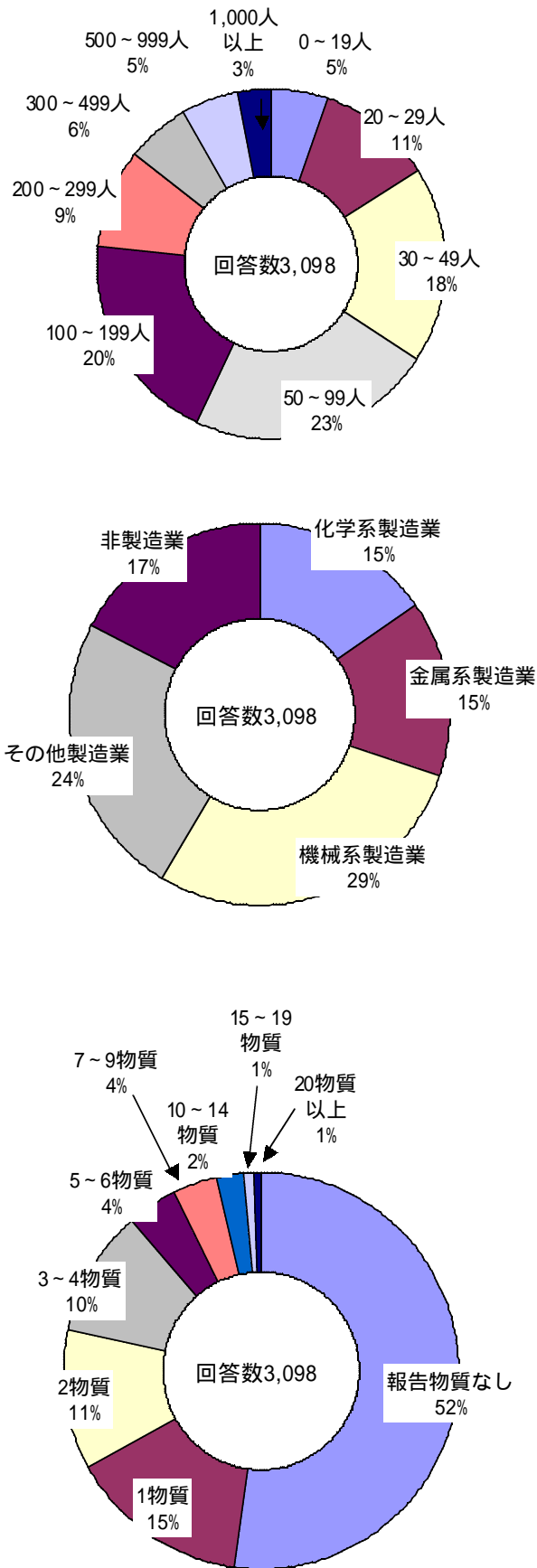


図3-1-1 アンケート回答事業所数の構成比

(2)集計結果の概要

マニュアル等の内容

(ア) 「推計マニュアル」の使用

推計マニュアルを使用したのは、全体の約63%であり、常用雇用者数が1,000人以上の事業所に限ると、約3割の事業所が別のマニュアルを使用したと回答した。

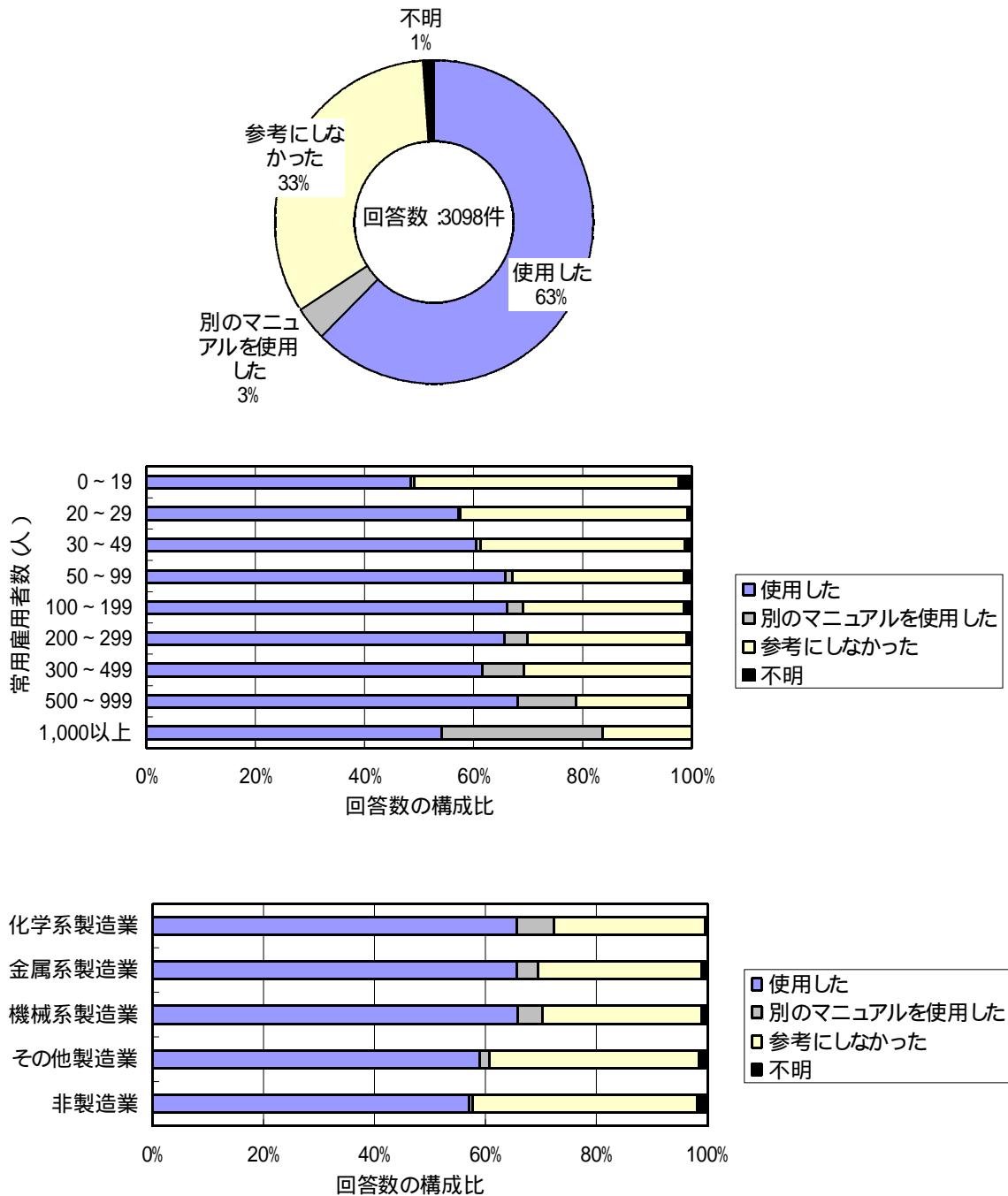


図3-1-2 「推計マニュアル」の使用の有無

(1) 推計マニュアル」の分かりやすさ

推計マニュアルを「非常に分かりやすい」又は「分かりやすい」と回答した事業所は全体の41%であり、平成10年度調査の38%より若干向上した。しかし、依然として過半数の事業所が「どちらとも言えない」や「分かりにくい」などと回答し、改善の余地があることを示している。

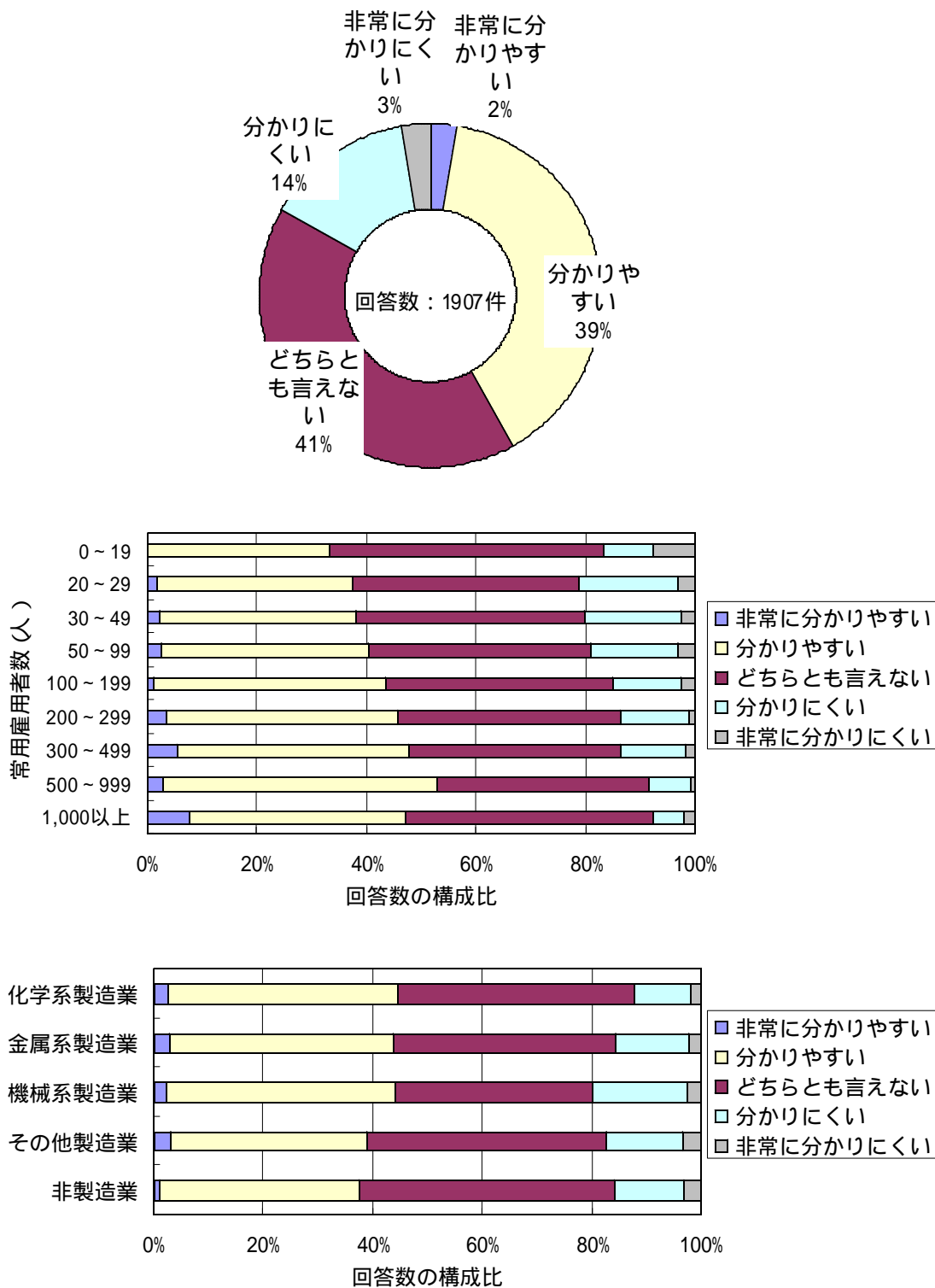
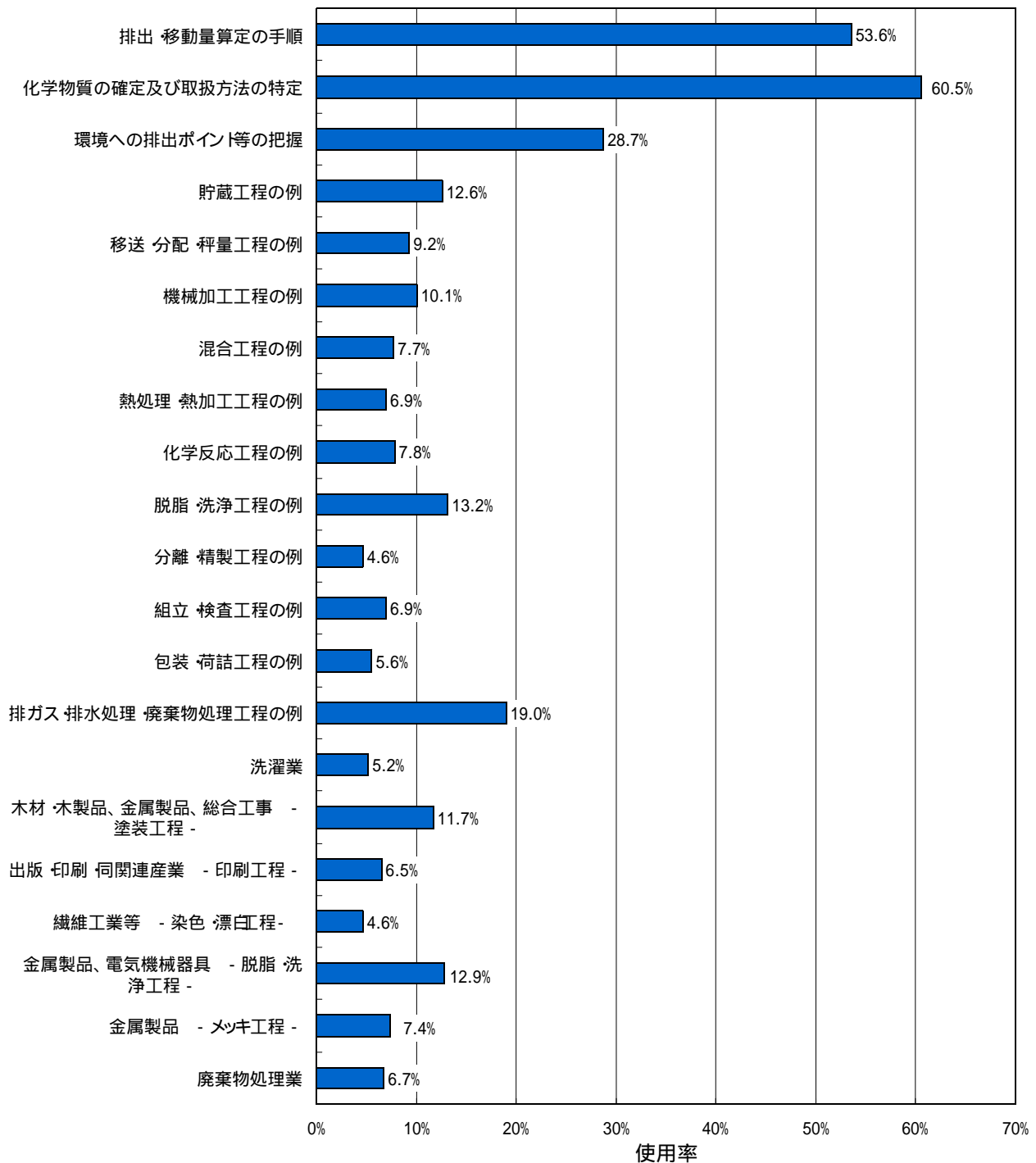


図3-1-3 推計マニュアル」の分かりやすさ

(ウ) 推計マニュアル」の第2部の使用状況

推計マニュアル第2部のうち、「排出・移動量算定の手順」のように多くの事業所に共通する項目は半数以上の事業所で実際に使用されているが、「貯蔵工程の例」のように、特定の工程や業種に限定した項目は、10パーセント前後の使用率となっている。



注：推計マニュアルを使用した事業所（1,937事業所）に対する割合を示す。

図3-1-4 推計マニュアル第2部の項目別使用率



推計マニュアルの第2部の項目について、それぞれの「分かりやすさ」別の回答件数を表3-1-4に示す。また、表3-1-4には、「分かりやすさ」の程度を示す指標として「平均ポイント数」を表した。項目1及び2の導入部分は「分かりやすい」とする回答が過半数となっており、平均ポイント数も比較的高いが、工程別の例は全体にポイント数が低くなっている。

平均ポイント数 :以下の「ポイント数」の合計を回答件数（「不明」を除く）で割ったもの

「非常に分かりやすい」= 5ポイント

「分かりやすい」= 4ポイント

「どちらとも言えない」= 3ポイント

「分かりにくい」= 2ポイント

「非常に分かりにくい」= 1ポイント

表3-1-4 「推計マニュアル」第2部の「分かりやすさ」別の回答件数構成比

推計マニュアルの項目	回答数構成比						回答件数	平均ポイント数
	非常に分かりやすい	分かりやすい	どちらとも言えない	分かりにくい	非常に分かりにくい	不明		
1 排出・移動量算定の手順	5.4%	57.4%	24.6%	7.4%	1.1%	4.1%	1,038	3.6
2 化学物質の確定及び取扱方法の特定	5.6%	52.1%	26.3%	9.5%	1.2%	5.3%	1,172	3.5
3 環境への排出ポイント等の把握	3.2%	46.6%	33.5%	11.5%	2.0%	3.2%	556	3.4
4 貯蔵工程の例	2.5%	43.4%	33.6%	15.2%	2.9%	2.5%	244	3.3
5 移送・分配・秤量工程の例	3.4%	33.0%	40.2%	15.6%	4.5%	3.4%	179	3.2
6 機械加工工程の例	2.6%	36.9%	37.9%	11.3%	5.1%	6.2%	195	3.2
7 混合工程の例	1.3%	39.3%	38.7%	16.7%	3.3%	0.7%	150	3.2
8 熱処理・熱加工工程の例	2.2%	30.6%	46.3%	11.9%	4.5%	4.5%	134	3.1
9 化学反応工程の例	2.0%	33.8%	43.7%	15.2%	2.6%	2.6%	151	3.2
10 脱脂・洗浄工程の例	5.1%	41.2%	38.4%	9.4%	2.4%	3.5%	255	3.4
11 分離・精製工程の例	1.1%	27.0%	53.9%	13.5%	4.5%	0.0%	89	3.1
12 組立・検査工程の例	1.5%	35.8%	46.3%	9.0%	3.7%	3.7%	134	3.2
13 包装・荷詰工程の例	2.8%	33.3%	45.4%	12.0%	4.6%	1.9%	108	3.2
14 排ガス・排水処理・廃棄物処理工程の例	2.2%	40.2%	35.3%	14.1%	4.1%	4.1%	368	3.2
15 洗濯業	1.0%	26.7%	57.4%	8.9%	4.0%	2.0%	101	3.1
16 木材・木製品、金属製品、総合工事 - 塗装工程 -	1.8%	38.3%	41.4%	14.1%	1.8%	2.6%	227	3.2
17 出版・印刷・同関連産業 - 印刷工程 -	2.4%	25.4%	49.2%	16.7%	4.0%	2.4%	126	3.1
18 繊維工業等 - 染色・漂白工程 -	0.0%	17.8%	67.8%	5.6%	7.8%	1.1%	90	3.0
19 金属製品、電気機械器具 - 脱脂・洗浄工程 -	3.6%	36.5%	38.6%	9.2%	4.0%	8.0%	249	3.3
20 金属製品 - メッキ工程 -	1.4%	34.3%	46.2%	13.3%	3.5%	1.4%	143	3.2
21 廃棄物処理業	2.3%	36.9%	43.1%	11.5%	3.1%	3.1%	130	3.2
合計	3.7%	43.9%	35.0%	11.0%	2.6%	3.9%	5,839	3.2

(I) 「推計マニュアル」を使用しなかった理由

推計マニュアルを使用しなかった理由は、「使用しなくても推計できる」が30%を占めた。「その他」の回答が48%と多かったが、「報告対象外であるため」という回答がほとんどであった。

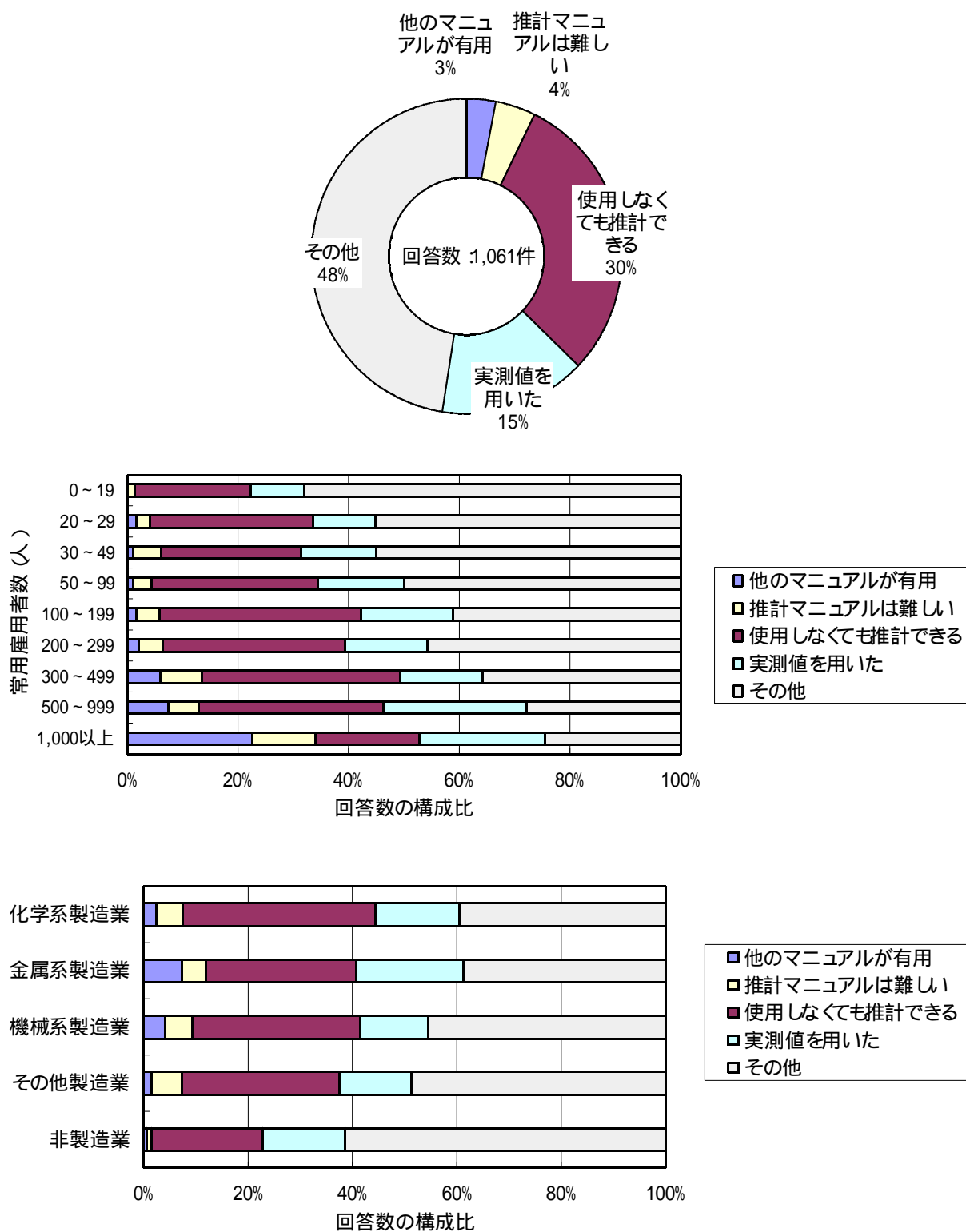


図3-1-5 「推計マニュアル」を使用しなかった理由

(オ) 推計マニュアル」第2部の改善が必要な部分

推計マニュアルの改善が必要な部分として、「化学物質の確定及び取扱方法の特定」や「貯蔵工程の例」、「排出・移動量算定の手順」の回答が多かった。また、特定の項目に限定しない全般的な問題点の指摘としては、「用語の意味が分かりにくい」や「ページ数が多い割に、当社の業務に一致する例がない」といった内容が多かった。

表3-1-5 推計マニュアル」第2部の改善が必要な部分

項	目	回答数
1	排出・移動量算定の手順	12
2	化学物質の確定及び取扱方法の特定	30
3	環境への排出ポイント等の把握	6
4	貯蔵工程の例	13
5	移送・分配・秤量工程の例	7
6	機械加工工程の例	5
7	混合工程の例	2
8	熱処理・熱加工工程の例	3
9	化学反応工程の例	3
10	脱脂・洗浄工程の例	4
11	分離・精製工程の例	1
12	組立・検査工程の例	-
13	包装・荷詰工程の例	-
14	排ガス・排水処理・廃棄物処理工程の例	5
15	洗濯業	-
16	木材・木製品、金属製品、総合工事 - 塗装工程 -	5
17	出版・印刷・同関連産業 - 印刷工程 -	3
18	繊維工業等 - 染色・漂白	1
19	金属製品、電気機械器具 - 脱脂・洗浄工程 -	-
20	金属製品 - メッキ工程 -	1
21	廃棄物処理業	3
(項目の特定なし)		38
合 計		142

< 改善が必要な理由 (主な意見を抜粋) >

「化学物質の確定及び取扱方法の特定」

- ・金属化合物の換算方法が分かりにくい。(4件)
- ・物質数が多く、名称に馴染みがないと分かりにくい。(4件)
- ・排ガス関係の算定方法が分かりにくい。(4件)
- ・用語の定義が分かりにくく、専門用語も多い。(3件)

「貯蔵工程の例」

- ・該当する算定法の判断がしにくく、具体例が更に必要。(5件)
- ・単位が分かりにくい。(3件)

(カ) 「推計マニュアル」のQ & Aについて

推計マニュアルのQ & Aが「参考になった」と回答したのは1,417事業所 (46%)であり、推計マニュアル全体を「分かりやすい」と回答した798事業所の約1.8倍の事業所がその有用性を認めている。しかし、「参考になった」という割合は、従業員規模の小さな事業所ほど低い傾向がある。

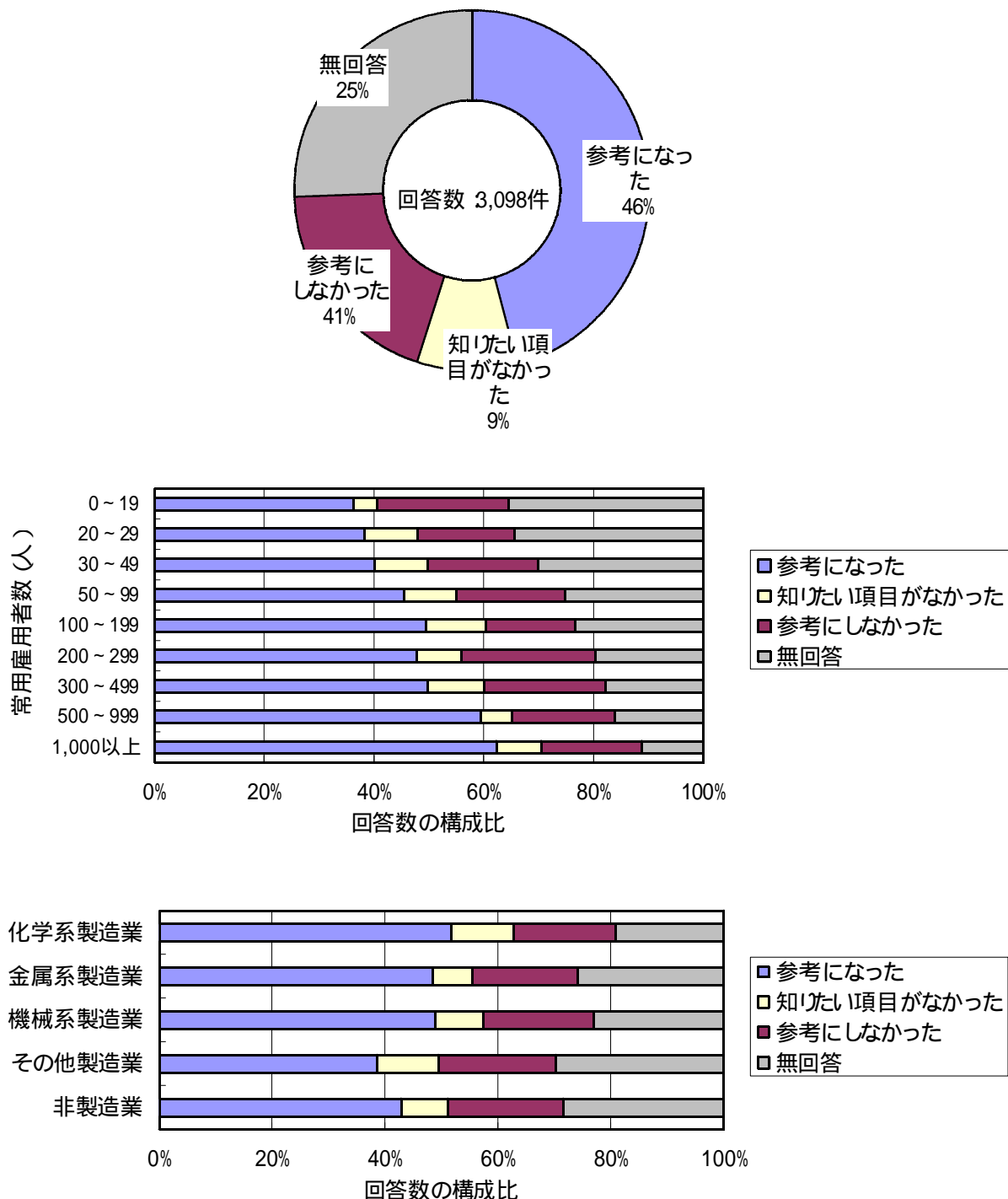


図3-1-6 「推計マニュアル」のQ & Aの分かりやすさ

(※) 推計マニュアル」第2部以外の改善が必要な部分

推計マニュアル(第2部以外)の改善が必要な部分として、「別表3-1 対象化学物質一覧表」や「別表3-2 物質群構成化学物質」の回答が多かった。特に、物質群として指定されている場合の対象物質の判定や物質の検索に不便を感じている事業者が多く、今後は、例示する個別物質名の充実と共に、例えば電子ファイル上で検索できるシステムの構築・提供等が必要であると考えられる。

表3-1-6 推計マニュアル」第2部以外の改善が必要な部分

項 目		回答数
A1	報告対象有害化学物質及び対象事業所等	9
A2	報告に必要な情報	4
C01	本マニュアルで使用している用語の定義	6
C02	報告様式 1、2A及び2Bの記入例	5
C03	製品安全データシート(MSDS)の例	1
C04	別表1 業種別の主な使用薬剤・原料等	6
C05	別表2 業種別の主な使用薬剤・原料等に含まれる対象化学物質	6
C06	別表3-1 対象化学物質一覧表	22
C07	別表3-2 物質群構成化学物質	11
C08	別表3-3 石油系燃料及び潤滑油中の対象化学物質	6
C09	別表4 化学物質に係わる関連業界リスト	5
C10	別表5 PRTR対象化学物質の物性表	4
C11	別表6 主要対象化学物質の大気への排出係数	8
C12	別表7 代表的な排ガス処理施設の除去率と分解無害化率の推算値	5
C13	別表8 代表的な排水処理施設の除去率と分解無害化率の推算値	5
C14	別表9 廃棄物処理施設からの排ガス中ダイオキシン類濃度の仮推算値	6
C15	資料1 廃棄物処理施設排ガスのダイオキシン類のTEQ濃度と他の指標との相関	2
C16	資料2 廃棄物処理施設排ガスのダイオキシン類TEQ濃度推算のための簡易測定方法	2
D	PRTRパイロット事業Q&A集	4
(項目の特定なし)		12
合 計		129

<改善が必要な理由(主な意見を抜粋)>

別表3-1 対象化学物質一覧表」

- ・検索が大変である。五十音順の表を付けたり、電子ファイルで検索できるような工夫が必要。他の表とまとめると見やすい。(7件)
- ・ハザードランクや溶解性で決定される報告対象の範囲が分かりにくい。(6件)
- ・使用方法や使用箇所、物質の性質等の情報を充実させるべき。(5件)

別表3-2 物質群構成化学物質」

- ・使用方法、使用箇所の情報が分からない。(3件)
- ・対象物質の例示が少ない。(2件)
- ・溶解性の意味が分かりにくい。(2件)

(ク) 「推計マニュアル」に関する要望

排出量、移動量の算定にあたりよく分からなかった点や、今後の「推計マニュアル」へ追加してほしいと回答された内容は以下の通りである。括弧内は類似回答を含む件数を示す。

【全般】

- ・業種別のマニュアルがほしい。(17件)
- ・具体例を増やしてほしい。(12件)
- ・言葉の定義(取扱量、溶解性、非意図的など)を明確にしてほしい。(8件)
- ・フローシートや図を用いて説明してほしい。(5件)
- ・推計の基本的考え方を示してほしい。(1件)

【推計のための情報】

- ・もっと多くの金属化合物の換算係数を載せてほしい。(8件)
- ・主な製品についてのMSDSを載せてほしい。(3件)
- ・排出係数を増やしてほしい。(3件)
- ・物性値情報を充実させてほしい。(2件)
- ・物質ごとの主な用途の例を載せてほしい。(1件)

【各工程】

- ・廃棄物中の対象物質の含有量が分からない。(11件)
- ・塗装工程についての推計例を示してほしい。(10件)
- ・製造工程や中和処理で化学変化を起こしたときの推計例を示してほしい。(6件)
- ・工程の中に大気への排出があるのか分からない。(4件)
- ・排水、排ガス処理の除去効率について指定しにくい。(3件)
- ・接着剤や塗料として溶剤を用いているときの製品への残存量が分からない。(3件)
- ・自社で再生リサイクルを行っている場合の推計例を示してほしい。(3件)
- ・集塵機に残ったものの扱いをどうすればよいか。(2件)

【その他】

- ・予備知識がないため、読みこなすのが困難だった。(5件)
- ・単位が分かりにくい(計算式にも単位を入れてほしい)。(4件)
- ・推計の精度をどこまで求めたら良いのか。(3件)
- ・年間在庫の変動量という項目を作った方がよい。(2件)

(ケ) 「記入要領」等の分かりやすさ

記入要領等の資料を「非常に分かりやすい」又は「分かりやすい」と回答した事業所は、回答した事業所全体の約58%であり、平成10年度の結果(53%)より若干増加した。

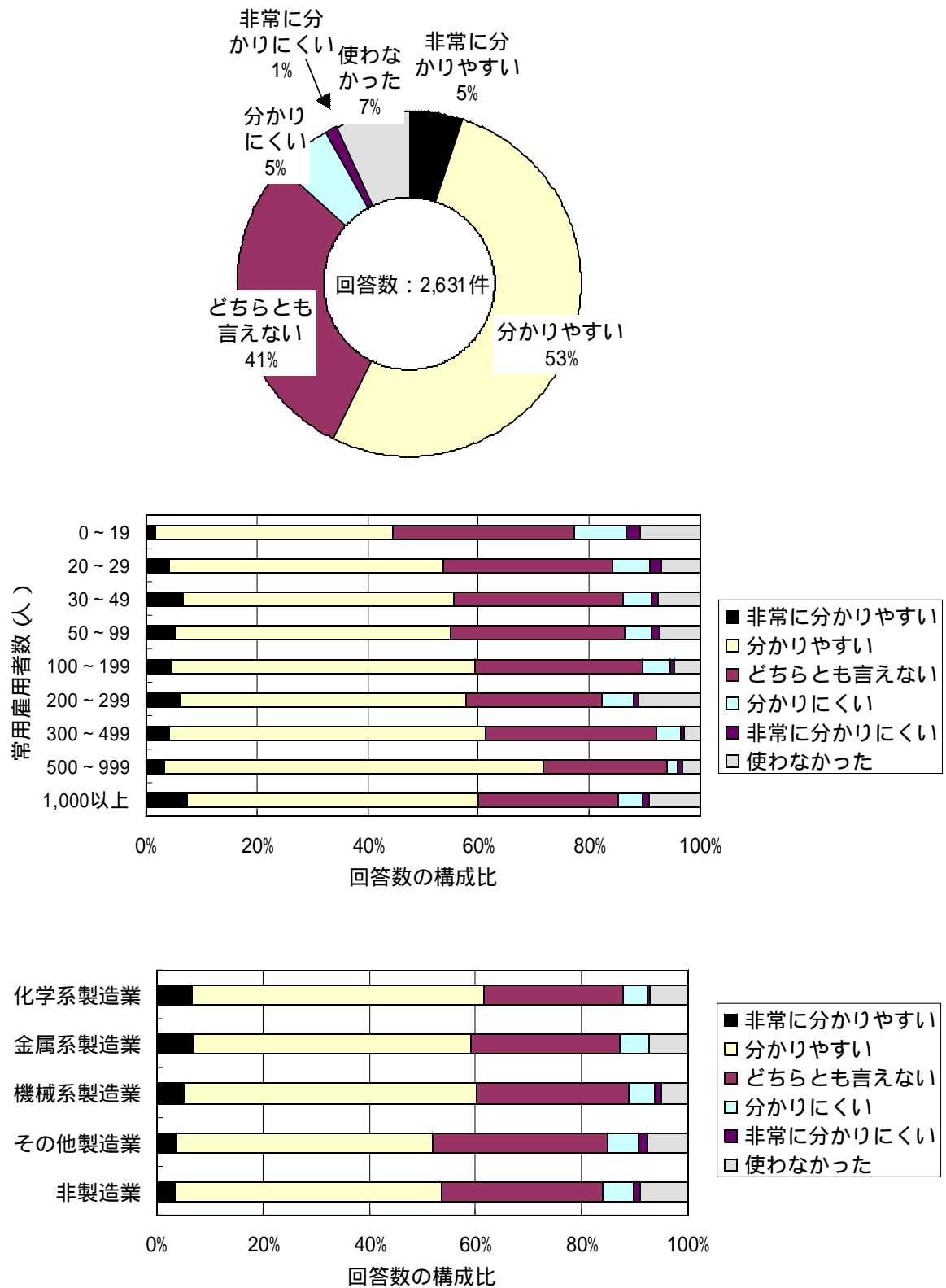


図3-1-7 「記入要領」等の分かりやすさ

(7) 「記入要領」等の改善が必要な部分

記入要領等の資料における改善が必要な部分としては、「作業シート3(排出・移動量算定表)の記入要領」及び「様式1の記入要領」を指摘する回答が多かった。具体的な意見としては、「内容」の不備を指摘する意見と、資料としての「レイアウト」の不備を指摘する意見の両方があった。

表3-1-7 「記入要領」等の改善が必要な部分

項 目		回答数
E1	様式 1の記入要領	18
E2	様式 2(2A及び 2B)の記入要領	11
F1	作業シート1(取扱品等組成表)の記入要領	8
F2	作業シート2(取扱量集計表)の記入要領	10
F3	作業シート3(排出・移動量算定表)の記入要領	20
F4	作業シート3から様式 2Aへの転記	2
F5	作業シート4(ダイオキシン類の大気への排出量算定表)の記入要領	2
F6	作業シート4から様式 2Bへの転記	1
G1	PRTRパイロット事業のための成分組成質問票	-
G2	調査機関(都道県市)への質問票	-
H1	表 - 1 業種別の主な使用薬剤・原料等	1
H2	表 - 2 対象化学物質一覧(各グループ毎に五十音順)	2
H3	表 - 2の付表(その1) 対象化学物質及び別名の五十音順索引	1
H4	表 - 2の付表(その2) 対象化学物質のCAS No.順索引	-
H5	表 - 2の付表(その3) カテゴリ別の対象化学物質	-
H6	表 - 3 各単位工程での排出ポイントの例	-
H7	表 - 4 金属換算等を行う物質群を構成する主な化学物質の例 (項目の特定なし)	1 26
合 計		103

<改善が必要な理由(主な意見を抜粋)>

「作業シート3(排出・移動量算定表)の記入要領」

- ・項目の意味や定義が分かりにくい。(9件)
- ・作業シートが別れていて作業が複雑。また、マニュアルに頼る部分も大きい。(6件)
- ・項目の分類が不適切である。(3件)

「様式1の記入要領」

- ・見開きでないため見づらい。(5件)
- ・記入例を具体的に丁寧に書いてほしい。(5件)
- ・従業員数、取扱品目など言葉の定義が曖昧である。(3件)

「様式2の記入要領」

- ・見開きでないため見づらい。(2件)
- ・項目や選択肢の意味が分かりづらい。(2件)
- ・個別物質が複数ある時の対応が分からない。(2件)

「作業シート2(取扱量集計表)の記入要領」

- ・作業シートが別れていて、作業が複雑。(6件)
- ・金属換算のシートが必要である。(2件)